

学習評価の進め方ワークシート（数学：記入例）

【「学習評価の進め方ワークシート」の使い方】

学習指導要領の改訂に伴い、評価の観点^①が3観点に整理されたことに加え、単元や内容のまとまりにおける評価が一層重視されるようになったことで、学校現場ではどのように生徒を評価したらよいか迷われている先生方もいらっしゃると思います。

そこで、具体的に単元の評価規準を作成したり指導計画を立てたりすることで、新しい評価における理解を深めていただくことを目的とした「学習評価の進め方ワークシート」を作成しました。

右に示した「新学習指導要領における学習評価の在り方」の資料や文部科学省国立教育政策研究所から公表された「※指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料等を基に、以下のワークシートの手順に従い、単元の評価を実施してみてください。

※「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料(<https://www.nier.go.jp/kaihatsu/shidouairyuu.html>)国立教育政策研究所

新学習指導要領における学習評価の在り方
中学校数学

1 単元における学習評価の進め方
単元における観点別学習状況の評価を実施するに当たり、以下のように進めることが考えられる。

1	単元の目標を作成する	①については、学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説、生徒の実態、前単元までの学習状況等を踏まえる。
2	単元の評価規準を作成する	②については、①を踏まえ、評価場面や評価方法を計画する。どのような評価資料を基に、「おおむね満足できる」状況(B)と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況(C)への手立て等を考えたりする。
3	「指導と評価の計画」を作成する	③に沿って観点別学習状況の評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。
4	観点ごとに総括する	④については、集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総括的評価(A、B、C)を行う。

2 「主体的に学習に取り組む態度」の評価規準の作成方法
【中学校学習指導要領 第3学年 目標】
【第3学年】
1 目標
(3) 数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。
【学年別の評価の観点の趣旨 第3学年】
数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生か

Point!
当該学年の目標の(3)の主体的に学習に取り組む態度の「観点の趣旨」をもとに、指導事項等を踏まえ、その内容を

(3)年 単元名 (二次方程式)

1 単元の目標を作成する

<単元の目標> 学習指導要領解説を基に、単元の目標を作成しましょう。

- 二次方程式についての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。
- 文字を用いて数量の関係や法則などを考察し表現することができる。
- 二次方程式について、数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

2 単元の評価規準を作成する

<学習指導要領における単元の該当箇所> 学習指導要領から該当する単元の記載内容を抜き出しましょう。

- 二次方程式について、数学的活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。
 - ア 次のような知識及び技能を身に付けること。
 - (ア) 二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解すること。
 - (イ) 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くこと。
 - (ウ) 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くこと。
 - イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。
 - (ア) 因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現すること。
 - (イ) 二次方程式を具体的な場面で活用すること。

<内容のまとまりごとの評価規準> 各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に作成しましょう。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 因数分解したり平方の形に変形したりして二次方程式を解くことができる。 解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 二次方程式を具体的な場面で活用することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 二次方程式のよさを実感して粘り強く考え、二次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしたり、二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。

<単元の評価規準> 各教科の「新学習指導要領における学習評価の在り方」を基に作成しましょう。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①二次方程式の必要性和意味及びその解の意味を理解している。 ② x の係数が偶数である二次方程式を平方の形に変形して解くことができる。 ③二次方程式を因数分解して解くことができる。 ④解の公式を知り、それを用いて二次方程式を解くことができる。 ⑤事象の中の数量やその関係に着目し、二次方程式をつくることができる。	①因数分解や平方根の考えを基にして、二次方程式を解く方法を考察し表現することができる。 ②二次方程式を具体的な場面で活用することができる。	①二次方程式の必要性和意味を考えようとしている。 ②二次方程式について学んだことを生活や学習に生かそうとしている。 ③二次方程式を活用した問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。

3 「指導と評価の計画」を作成する

評価規準の内容を最も評価できる場面で、適切な評価方法を考えましょう。また、枠が足りないときは、同様の形式を作成して、なるべく詳しい計画を立ててみましょう。



時間	ねらい・学習活動	重点	記録	備考
3	・平方根の考え方を使って $ax^2+c=0$ の形の二次方程式の解き方を理解するとともに、 $a x^2+c=0$ の形の二次方程式を解くことができるようにする。	知		知②:行動観察
4	・平方根の考え方を使って $(x+p)^2=q$ の形の二次方程式を解く方法を理解するとともに、 $(x+p)^2=q$ の形の二次方程式を解くことができるようにする。	知		知②:行動観察
5	・前時の学習を基に、二次方程式を解く方法について考察することを通して、二次方程式を、 $(x+p)^2=q$ の形に変形して解く方法について考察することができるようにする。	思		思①:行動観察
(中 略)				
8	・いろいろな二次方程式を解く手順について考察することを通して、より能率のよい解法を考えることができるようにする。 ・小単元2までの学習を振り返って、分かったことや疑問などを記述することを通して、その後の学習を見通すことができるようにする。	思 態	○ ○	思①:ノート(二次方程式の解き方) 態①②:「学びの足跡」シート
9	既習の二次方程式を解き、注意点を整理することを通して、 ・いろいろな方法で二次方程式を解くことができるようにする。 ・既習の二次方程式の解き方について振り返り、自分の解き方を改善しようとする態度を養う。	知 態	○ ○	知②~④:行動観察、小テスト 態②:ノート

授業を行う

生徒への学習状況のフィードバックや授業改善に生かす機能を一層充実させることが大切です。

4 観点ごとに総括する

評価の観点ごとの総括及び評定への総括の考え方や方法について、教師間で共通理解を図り、生徒や保護者に説明し理解を得ましょう。

(例) 評価結果の A、B、C を数値に置き換えて総括する場合

A	B	C
3点	2点	1点

総括の結果を B とする範囲を $[2.5 \geq \text{平均値} \geq 1.5]$ とする。

学習活動	1	2	3	4	5	6	総括	単元の評価
知識・技能		3点		3点	2点		$8 \div 3 = 2.66$	A
思考・判断・表現			2点			3点	$5 \div 2 = 2.5$	B
主体的に学習に取り組む態度	2点	2点				3点	$7 \div 3 = 2.33$	B

